

第 29 回農業農村情報研究部会勉強会

日時： 平成 22 年 12 月 18 日（土） 13:00-15:00

場所： 東大農学部 7 号館 A 棟 113 教室

1. 開会

2. 報告

- ・ 学会企画セッションについて
- ・ 農業農村情報用語集について
<http://info.ga.a.u-tokyo.ac.jp/agrinfo>

3. 勉強会

（1）環境同位体等を使った地下水涵養機構研究

（農村工学研究所 農村環境部長 今泉眞之）

（2）シミュレーションと撤退の農村計画

——住民目線の目的指向シミュレーションが地域を救う——

（横浜国立大学大学院環境情報研究院・産学連携研究員 林直樹）

（大谷大学文学部・非常勤講師 齋藤晋）

（3）その他

4. 議論

5. 閉会

平成 22 年 12 月 18 日（土）
農業農村情報用語集作成委員会
委員長 溝口 勝

農業農村情報用語集の作成について

1. 目的

農業農村情報研究は農業農村工学会の範囲にとどまらず、農業農村に関する広範囲な情報が対象になるため、農業農村工学ハンドブックや農業土木標準用語辞典では対応できない場合が多くなっている。このため、情報機器や情報ツールなどは別途の資料検索が必要になっている。そこで、農業農村工学分野と情報分野及び農業農村社会分野を網羅した用語集が重要と考え、農業農村情報研究の一環として農業農村情報に特化した用語集を作成する。

用語集の作成は WiKi を用いて、Web 上に多くの執筆者の協力を得て項目と内容説明及び関係資料の検索項目を書き込み、関係者が追加、修正を行って完成させる。この方法は、農業土木標準用語集は用語の検索及び説明に特化しているのに対して、農業農村用語集は用語の検索と説明だけでなく、関係資料の検索を行うことが出来るという特徴がある。

なお、今回の用語集は Web 上に構築するという特徴があるが、インターネットを利用している若い世代には簡単な検索や修正等の編集、利用がインターネット世代以外には行う難しいという課題がある。このため、実際に操作する仕組みや修正方法の説明も工夫する。

2. 編集担当者

農業農村情報用語集に掲載する項目とその説明を 1 人 30 項目程度考え、登録する。
また、執筆者を推薦する。

- ① 大政謙次 先生
- ② 溝口 勝 先生
- ③ 松尾芳雄 先生 農村社会関係
- ④ 伊藤良栄 先生
- ⑤ 小川 科長 土地資源関係
- ⑥ 吉迫 主任研究員 GIS 関係
- ⑦ 大西亮一 農業水利関係

3. 執筆を選定して依頼する項目

- ① データベース
- ② インターネット
- ③ 情報解析
- ④ 情報ツール；教育、情報交換、インターネット、IT、技術、情報公開、

情報ツール、データベース

- ⑤ 気象情報；気象、雨、温度、台風、風
- ⑥ 地質情報；地盤、土壌、亀裂、断層、地滑り、作物、空間統計
- ⑦ 地理情報；G I S，国土数値情報、地形、土地管理、景観、植生、測量、地質
- ⑧ 水情報；水文、水利、水管理、積雪、貯水池（ダム、ため池）、地域用水
- ⑨ 農業情報；
- ⑩ 農村情報；

Web による「農業農村情報用語集」編集プロジェクト Project for editing agroinformatics wikipedia

○ 関 勝寿*、溝口 勝**

○ Katsutoshi Seki* and Masaru Mizoguchi**

1. はじめに

農業農村工学会農業農村情報研究部会では、「農業農村情報用語集」を作成し、誰にでも簡単に使えるように Web 上に公開し、いずれ出版をすることを目指している。そのために、Web 上で誰でも自由に編集に参加できる Web サイトを開設した。

Web サイト開設の際には、オンライン百科事典のウィキペディア¹⁾を参考にした。ウィキペディアは、誰もが自由に編集に参加でき、2009 年 7 月 21 日現在、世界 271 カ国の言語で 1350 万本の記事が書かれている。ウィキペディアで使われているシステムは、MediaWiki²⁾というソフトとして公開されている。この MediaWiki を使って、「農業農村情報用語集」³⁾の Web サイトを開設し、編集プロジェクトを始動させた。農業農村工学会にとって、貴重な知的資源を一般の人がアクセスしやすいような形で整備することは重要な社会貢献となるものと期待される。

2. システムの特徴

用語集のページは、MediaWiki を使っているため、ウィキペディアと同じように「一般の Web 利用者が編集作業に参加できる」「ウィキシステムを採用し、パソコンのブラウザを使って誰もが簡単に執筆、編集できる」「投稿履歴が公開されており、いつ誰がどのような編集をしたかが把握できる」という特徴を持っている。

用語集システムでは、編集ができる人を「アカウントを作成し、メールアドレスの確認をした人」に限定して、編集した人に連絡を取れるようにしている。アカウントの作成は誰でも可能であり、「誰もが簡単に執筆、編集できる」という特徴はウィキペディアと同じである。

3. 閲覧の方法

ページ左カラムにあるナビゲーションの「**全ページ**」メニューから作成されたページを一覧することができる。また、同じく左カラムの「**検索**」ボックスを使うことで、ページタイトルもしくはページ内本文全文検索をすることができる。図 1 は、作成された用語解説ページの例である。上部に表示される「**履歴**」メニューからは、そのページをいつ、誰が作成し、更新したかという履歴を一覧できる。

4. ページ作成と編集の方法

編集の方法について、ここでは概略を示す。詳しくは、ナビゲーションの「**ヘルプ**」メニューに記されているので、ヘルプを参照していただきたい。

(1) **アカウントの作成** ページ右上の「**ログインまたはアカウント作成**」をクリックし、「**アカウントを作成**」を選ぶ。利用者名、パスワード、メールアドレス、本名を登録すると、アカウントが作成される。そして、メールアドレスの正当性を確認するためのコードを含んだメールが送信されるので、そのメールを受信して、メールに記載された URL にアクセスすると、メールアドレスが確認される。このアカウントでログインすると、ページを編集するためのメニューが表示されるようになる。

(2) **利用者情報の登録** ログインすると、右上の利用者用リンクに自分の利用者が表示され、そこを

*東洋大学経営学部 (Toyo University), **東京大学大学院農学生命科学研究科 (University of Tokyo)

クリックすると、「利用者:〇〇（自分の利用者名）」というページが表示される。このページに、自分の名前と所属を記入する。

(3) **新規ページの作成** 作成するページのタイトルを、ページ左の検索ボックスに入力して「表示」ボタンを押す。「〇〇というタイトルのページは存在しませんでした。新規作成する。」という画面が表示されるので、「新規作成する」というリンクをクリックすると、新規ページが作成される。

(4) **ページの編集** 上記手順によって新規ページを作成するか、既存ページ上部の「編集」タブをクリックすることで、編集画面となる。編集ボックスに、テキストを入力、編集する。このときに、ウィキ構文を使うことで、見出しの作成、イタリック・**ボールド**等の文字装飾、箇条書き、ハイパーリンク、表の作成、数式の埋め込み等ができる。また、画像をアップロードして、アップロードした画像をページ内に埋め込むことも可能である。

ページ編集の際に使うウィキ構文については、ヘルプページ内に設置している「練習ページ」で自由に練習して習得していただきたい。

(5) **編集した人へのメール** 利用者が登録したメールアドレスはサイト上には公開されないが、メールを送信できる。利用者情報ページのツールボックスから「この利用者にメールを送信」メニューを使う。メールを送信するためには、受信者がオプションで他の利用者からのメールの受け取りを許可する設定をオンにしている必要がある。

5. おわりに

ウィキによる Web 共同編集システムにより、用語集編集プロジェクトを開始した。学会員から良質な記事を投稿していただくことで、検索エンジン等からのサイトの訪問が増えて、サイトの認知度が上がり、学会の宣伝となるとともに、学会としての社会貢献をアピールできる。今後、学会としてどのような形で編集プロジェクトを推進していくのか、農業農村情報研究部会で話し合っていきたい。学会員諸子には、記事の作成、編集にご協力いただきたく、お願い申し上げる。

誰もが簡単に編集できるというウィキの特徴を生かして、今後は用語集のみならず、委員会の議事録作成等、学会の他の活動へのウィキの活用も検討に値する。

6. 参考ウェブサイト

- (1) ウィキペディア日本語版 <http://ja.wikipedia.org/>
- (2) MediaWiki (日本語) <http://www.mediawiki.org/wiki/MediaWiki/ja>
- (3) 農業農村情報用語集 <http://133.11.144.100/agrinfo/> (URL 変更の可能性あり)



図1 用語解説ページの例

Fig. 1 Example of the terminology page